

今を未来に

6年生社会見学に行ってきました。

先週7日(水)、6年生は奈良方面(橿原考古学博物館・東大寺・法隆寺)へ社会見学に行ってきました。残念ながら一日中雨に降られましたが、水曜日という事もあってか、社会見学先では小中学生が少なく、いつも以上に見学がしやすく、予定通りを見学を進めることができました。

最初に行った橿原考古学博物館では、縄文・弥生時代から始まり、石器・鉄器の文化や土器や陶器、古墳時代の埴輪、副葬品、棺などが、時代とともに移り変わっていく様子が、展示されています。子どもたちは、しおりで事前に調べたことを展示物で確かめようと、探す様子でした。本当は、説明書きをじっくり読んで進めばいいのですが、気持ちはわかります。担任の先生が、施設の所々で関所を設けてくれて、「まだこのゾーンで見学しよう。」「黒曜石はみつけてきた？」など、いろいろ声をかけたこともあって、バスに戻ってきた子どもたちに尋ねると、多くの展示物の中から「これ」という物を見逃さずに、見てきたようでした。博物館の職員の方からも「よく調べ学習を試してみえたようですね。」と声をかけていただきました。



次に、東大寺へ行きました。本当は、班別行動でお昼を食べて見学することになっていたのですが、かなりの雨模様で、お昼はバスの中でお弁当を開けることになりました。お弁当を食べた後、早速東大寺へ向かいました。南大門の仁王様(阿吽の像)を見て、大仏殿に向かいました。南大門をくぐってきた子どもたちに「仁王像見えてきた？」と聞くと、「それ何？」という子もいて、どうやら素通りしてきたようです。「帰りにもう一度」ということごとにして、大仏様へ向かいました。大仏様の前では毎年同じ子どもたちの表情を見ます。「でかい!」「よく昔の人は大きな機械なしで作れたなあ。」という、驚きと感心の気持ちを合わせたような表情が今年も見られました。そして、大仏様を回ったところにある「鼻の穴と同じ大きさ」と言われている柱をくぐりました。これも、並んでいる人がほとんどいなくて、挑戦したい子は全員

くぐることができました。鹿せんべいをあげることは雨が強くてあきらめました、行くときに見逃した仁王像は確認をして、バスに乗り込みました。

最後は、世界遺産の法隆寺でした。雨は降り続けていましたが、ここでも見学者は少なく、七不思議を探し、エンタシスの柱を確かめ、大講堂・金堂を回り、五重の塔の中にあるお釈迦様の涅槃の像を見て、大宝物殿にある玉虫厨子を確かめました。「厨子」が仏像を収める屋根付きの小さなお堂のようになっていて、「玉虫厨子」は玉虫の羽を装飾に使ったものが柱の所にあることを確かめました。



6月8日（木）授業参観・懇談会 ありがとうございました。

新しい学年が始まって、早いものでもう2か月が過ぎました。1年生のお子様も小学校生活のリズムに慣れて、算数ではたし算の学習、国語では文章を読んで考えるという内容になってきているところです。上級生のお子様も、それぞれの学年・学級で学習に真剣に向かっている様子を見ていただくことができたでしょうか。

また、私は保々小に来て4年目になりますが、全校で見た時、一番出席者が多かったのではないかと思います。教頭先生に集計してもらったところ、全校でおよそ135人の保護者の方が懇談会に残ってくださっていたそうです。お子様方の学校・学級での様子をいつも保護者の方が見守ってくださっている証かなと思います。もちろん、懇談会の時都合がつかなかった方もみえると思います。この日の懇談会の内容などは学年・学級の通信でも触れられるかと思えます。あるいは、同級生の保護者の方で出席いただけただけの方からどんな話があったかお聞きいただくとありがたいなと思っています。

児童の捜索に、ご協力ありがとうございました。

昨夜は、行方不明になった2年生児童の捜索に、たくさんの方のご協力をいただきました。夕方、ご家族から捜索の協力依頼を受け、職員全員で探していた時も、その職員の姿を見て声をかけてくださり、ご協力いただいた方もありました。また、すぐメールを見て、職員の数だけでは足りないであろうと、遠くは東員イオンまで見に行っていたいたり、まわり切れていなかった地区を捜索してくださったりして、本当に助かりました。ありがとうございました。

今回は東員町の西桑名ネオポリスの祖父母の家まで、2時間かけて歩いて行っていました（保護者の同意も得て、発見された場所をお伝えしました）。無事に見つかりましたが、本日それぞれの学級で大人がどんな気持ちで探していたかを担任から伝え、外出する時の約束を子どもたちと確かめました。この約束はみんなで守りたいものです。

また、本来は発見された場所までお伝えすることは控えたいと思っていました。が、高学年の子どもたちが面白半分とも取れる会話の仕方で、「知っとる？知っとる！東員町のイオンでみつかったらしい。」「井戸の近くでみつかったらしい。」「いや、井戸の中におったんやろ。」と話をしている、誰から聞いたのかを確かめると、「家の人から聞いた。」「ラインが回っている。」などの話が出てきました。ありもしない「うわさ話」の渦に保護者の皆様が巻き込まれているとすると大変残念です。子どもたちには「どこでみつかったのか。」が大切なのではなく「無事にみつかってよかった。」という話で、プライバシーも含まれていることから、見つかった場所などは、本来は知らせないことだということも伝えました。